



「名城大学 新型コロナウイルス対策研究プロジェクト」に 薬学部の2件を選定 研究シーズを社会的課題解決に

新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり、未曾有の危機に直面し、先行きの不透明感が拭えない中、本学の英知を結集した「名城大学 新型コロナウイルス対策研究プロジェクト」に薬学部の2件が選定されました。同感染症がもたらす社会的な課題を解決することが期待されます。

神野透人教授（衛生化学研究室、写真上）が代表の「ゲノム分子疫学的調査への応用を指向した新型コロナウイルス SARS-CoV-2 遺伝子変異検出法の開発」と打矢恵一教授（微生物学研究室、写真下）が代表の「宿主の免疫力強化による感染予防に関する研究」です。研究期間は2020年10月1日から2021年3月15日まで。研究費助成額は各200万円です。



前者は、新型コロナウイルスの変異を高分解能融解曲線分析という手法を用いて解析する研究です。クラスター（感染者集団）が発生した時、感染経路を特定する精度の向上に貢献できるという、神野教授は「In silico（コンピューターを用いて）の機能解析を組み合わせることによって、新規の重要な変異についても速やかに対応できるシステムを構築したい」と話しています。

後者は、若い人の多くが新型コロナウイルスに感染しても無症状だったり、軽症で済んだりするのは免疫力によるのではと着目。宿主であるヒトの免疫力を高める物質を開発できれば、感染防止対策になるのではないかといいます。打矢教授は「微生物や植物由来の物質が免疫力を高めウイルスの増殖を抑制する免疫増強物質が作れたら」と狙いを語ります。



※2020年8月5日にお送りしたリリース「『名城大学 新型コロナウイルス対策研究プロジェクト』を学内で募集」の続報です。

【研究に関するお問い合わせ先】

神野 透人（ジンノ ヒデト）薬学部薬学科 教授 E-mail: jinno@meijo-u.ac.jp

打矢 恵一（ウチヤ ケイイチ）薬学部薬学科 教授 E-mail: kuchiya@meijo-u.ac.jp